

事業番号	06 01 02	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境保全研究所費				担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	環境政策課		
	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全 3 県民参加による環境保全			E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H7 ~		

1 事業の概要

目指す姿	・環境保全に関する試験検査、調査研究、情報の収集・提供の推進		
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・安茂里庁舎における環境の保全、廃棄物の適正処理、感染症や食中毒、食品の安全性等に関する試験検査及び調査研究 ・飯綱庁舎における自然環境の保全・保護、地球温暖化対策等の調査研究 ・環境放射能の継続モニタリング調査の実施及び水道水、食品、廃棄物等の放射性物質検査 		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 大気汚染防止法、水質汚濁防止法、食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、長野県環境基本条例など	
	県民との協働による実施: 検討中		

事業内容	① 成果目標 (H25)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般依頼件数 22件(前年度実績を基に算出) ・環境保全等に関する研究数 30件(前年度実績を基に算出) 			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初) (決算) H26 (当初)
環境保全研究所管理費	直接	・安茂里庁舎、飯綱庁舎の管理運営	51,318 51,391 87,116	
環境保全研究所研究等事業費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・行政検査、一般依頼検査の実施 ・環境保全等に関する調査研究 ・放射能調査 ・(補正)モニタリングポスト保守点検費用 	26,066 25,207 30,011	
合計			77,384 76,598 117,127	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	26,124	0	0	0
	当初予算	88,009	164,365	77,384	117,127
	補正予算	71,808	-22,294	3,633	
	合計(A)	185,941	142,071	81,017	117,127
	国庫支出金	107,345	5,803	9,323	10,731
	県債	0	0		0
	その他()	14,674	10,589	10,534	47,656
	一般財源	63,922	125,679	61,160	58,740
	決算額(B)	180,570	140,839	76,598	
概算人件費	職員数(人)	58.00	59.00	59.00	59.00
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	478,964	487,222	487,222	487,222
		659,534	628,061	563,820	604,349

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
一般依頼件数	25	22	22	達成	—
環境保全に関する研究数	30	30	27	未達成	30
公開講座、セミナー及びシンポジウム件数	—	—	—	—	22

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・一般依頼検査では、地下水や事業場排水等の検査を実施した。 ・地球温暖化対策及び自然環境の保全など行政施策に係る調査研究を的確に実施し、成果として公表した。研究数については、多くの研究が終了し新規の研究も提出されたが、新たな研究に取組むための構築期間として、若干の減少があった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政検査及び一般依頼検査を、正確かつ迅速に実施する。 ・行政施策を技術的にバックアップするため、湖沼等水質の保全、越境大気汚染、生物多様性の保全、温暖化対策、感染症予防、食品の安全・安心などに関する調査研究を推進する。